



このマークは、4Hクラブが掲げる4つの信条の頭文字と4つ葉のクローバーをあわせた、4Hクラブのシンボルマークです。

4Hクラブのブログも見てね

<http://tina4hc.ti-da.net/>



親子で仲良し農業してます

私は京都出身で、4年前の妻との結婚を機にこの島にきました。農業はまったくの未経験でしたが、義父と一緒に仕事をしながら経験と技術を磨いています。

そんな中、同じ青年農業者が集まる4Hクラブに誘われ入部しました。若い目線で今後の農業を考える仲間との情報交換はとても良い刺激となり、より自分を成長させてくれます。

現在、私のように親元で農業をされている方や独立自営されている方など、未来の農業を支える青年農家の方は、是非一度4Hクラブの活動を見学にいらしてください。きっとご自身に役立つ経験とネットワークを手に入れられるでしょう！

青年農家のネットワークづくりに参加しませんか 山本 欣市郎さん



バレイショや田芋などを栽培している、先間さん(右)と山本さん(左)親子。山本さんは、現在 4H クラブの会長を務めています。

息子はんがり屋 先間 義秀さん

「後継者がいなかったら農業をやめようと思っていた。」先間さんは、年齢的なことから今後について悩んでいたところ、次女夫婦が帰島。先間さんは「息子は農業が未経験にもかかわらず、自分から進んでしっかりと頑張ってくれている。今年の11月には、経営などすべて任し、私は手伝いの方にまわります。」と、うれしうに話していました。



松崎 達郎さん

県沖永良部事務所
農業普及課

**4Hクラブの
今後の活躍に期待！**

知名町4Hクラブの担当になり、元気なクラブ員と一緒に、私も多くのことを経験させていただきました。将来沖永良部の農業を担う農業経営者として、仲間とのつながりを大切にしながら、今後も頑張っていきたいと思います。

女性のクラブ員募集中です！

牧野 千秋さん(田皆)



夫の宏秋さんと一緒にオリエンタルユリ等の花き栽培を営む牧野千秋さん。結婚するまでは、農業には無縁だった千秋さんですが、いろいろな人との交流やさまざまな活動をしたかったため、友人に紹介された4Hクラブに入会。「知名町の4HCには個性的な方が多く、仕事やプライベートなことなどいろいろ話が聞けて、楽しく過ごしています。農業に興味がある人、また農業をしたことがなくても土に触れてみたい人など、4HCの活動に参加してみませんか？お待ちしております。」

耕種概要

- ・ ほ場の場所：田皆
- ・ 供試品種：ピンクシークレット 1,050 球、サナ 1,000 球 (ニュージーランド産)
- ・ 作式：ベッド幅 170 ㌢、株間 25 ㌢、条間 24 ㌢、条数 4 条



生育状況12月3日



定植10月27日



選別・出荷2月1日(200本)



防風ネット設置11月19日

中間報告

ハウスと比較するとボリューム不足だった。生育初期に灌水(かんすい)できなかったが、畑灌等を利用すれば十分改善できる。また、事前の土壌診断ができなかったため施肥で少し失敗した。来年は、冬場の花が減ると予想されているので期待できます。

平成 24 年度

共同プロジェクト

知名町4Hクラブ

課題選定の理由

沖永良部の花き生産は、全国でもまれな冬場の無加温産地として発展を遂げているが、近年の資材高騰の影響により、生産経費の削減が急務となっている。4Hクラブとして、全国でも夏場の重要作式となっているオリエンタル系ユリの露地栽培を、冬場の産地として取り入れていくことを目指す。

課題解決の方法

南半球産の球根を使って生産・出荷・販売を行い、問題点を検証する。

課題名

『オリエンタルユリの露地栽培の実証』